



◆◆育てたい資質・能力 シリーズ3【思考・判断・表現力】◆◆

今年度の学校経営において、児童の育てたい資質・能力は4つです。

①自尊心・他尊心 ②企画・実践力 ③思考・判断・表現力 ④コミュニケーション力

今回は、③思考・判断・表現力について、ご説明いたします。

通信票にも「思考・判断・表現」という観点があり、教科等の学習で大切にしている能力です。これは、筋道をたてて考える力・資料やグラフを読み取り情報を活用する力・自分の言葉でわかりやすく表現する力のことです。一問一答方式で覚えられる知識を身につけるだけでなく、様々な知識をどのように活用するかを考えて答えを出し、自分の言葉で表現することが、学習の取組の中で求められています。なぜかといえば、子どもたちが生きるこれからの社会は、「多様性」が価値あるものとして尊重され、様々な見方・考え方が飛び交う情報化社会だからです。多くの情報に振り回されず、情報を上手に活用して主体的に生きるために「思考・判断・表現力」の育成はたいへん重要であると考えます。

2学期始業式に、校長講話で「教室は間違ふところ」と話し、間違いから学ぶことの尊さを伝えました。間違いや失敗は、自分の今をふり返り修正し更なる成長を促します。「間違いや失敗は己の成長の機会である」と前向きに捉えることができれば、それは最高の強みとなります。ですから、学習において「思考・判断・表現力」を育成する背景には、子どもたちが間違いや失敗から学ぶ経験を通して「更に成長できた」と実感できるようになること、強いてはどのような状況でも「生き抜くことができる」児童の育成をねらっているのです。

今月は様々な体験学習を実施いたしましたが、教室での座学と違った学習を通して、子どもたちはたくさん思考し判断し表現しながら、その力を伸ばしました。その一端を感じ取っていただけましたら幸いです。



10/6地域の方の読み聞かせ。

お話の世界に浸り、様々な思いを巡らしていました。

◆◆10/4 国体観戦◆◆

「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」が賑わっている中、本校児童も、地元鹿沼市の会場「いちごアリーナ」へ出かけ、卓球の試合を観戦しました。会場は細かく仕切られ多くの試合があちこちで行われていました。観戦当日は栃木県チームの試合もなく、子どもたちは最初、どの試合を見て応援したらいいか戸惑っていましたが、そのうち「推しのチーム」を決めて自分なりに観戦を楽しみました。



◆◆10/6 3,4年生 社会科見学◆◆

この日、3,4年生は学年別に社会科見学へ出かけました。

《3年生 見学先:消防署、市役所、今宮神社、岩恵木工所》

3年生は、地域の安全を守る様々な活動や、地域の産業について学びました。実際に働く人々のお話を聞いたり作業体験させてもらったりして、その働きや生産の様子を学ぶことができました。また、いろいろな方々とふれあい話げできたことで思考も深まりました。



《4年生 見学先:雲龍寺、屋台のまち中央公園、文化活動交流館》

4年生は、地域の発展につくした先人の働きや文化財、年中行事について学びました。子どもたちは、世界遺産に指定されている本市の文化財：彫刻屋台の素晴らしさに見入っていました。また、たくさんの説明を聞き逃さないよう、メモをしたり自分の考えをまとめたりできました。



◆◆10/13,14 5,6年生 修学旅行◆◆

5,6年生にとって待望の修学旅行が10/13,14に行われました。今年は福島県会津磐梯方面です。一日目は鶴ヶ城周辺の散策、城下街（七日町周辺）のグループ行動、飯盛山見学を行い、会津の歴史を訪ねました。二日目は五色沼散策、ガラス館でのガラス彫刻体験、そして喜多方ラーメンを味わい、会津磐梯の「宝」と言われるものを堪能しました。

学校へ戻った子どもたちからは、「楽しかった」「もっと居たかった」と旅を惜しむ声がたくさん聞かれました。「会津の人は優しかった」という声も聞かれ、たくさんの人たちとのふれ合いが、良い経験になったことが伝わってきました。



